

図書だより

2月
 田原本町立北中学校
 令和6年2月
 第8号

春の足音が聞こえて来ました！

猫はこたつで丸くなる季節ですが、皆さんはこたつで丸まらずに元気に過ごさせていますか？
 2年生の数人が昼休みに外でサッカーをしているという話を聞きましたが、元気なことはすばらしいことです。どんどん体を動かして、気分をリフレッシュさせてから午後の授業に取り組めば、集中力もアップするかもしれませんね。外でのサッカーは無理という人は、ぜひ図書室に来てください。ストーブをつけて待っています。

最近の図書室の人気NO.1は、新聞の間違い探しです。意外と難しく、何日もかけて来室しては挑戦してくれる人がいます。1年生に間違い探しの達人がいますので、どうしても間違いが見つからないという人は達人に相談してみてください。きっと一瞬で見つけてくれること間違いなしです！新しい本も入荷していますので、どんどん借りに来てくださいね！

おすすめの本



「メモの魔力」前田 裕二(幻冬舎)

僕にとってメモとは、生き方そのものです。メモによって世界を知り、アイデアが生まれる。メモによって自分を知り、人生のコンパスを持つ。メモによって夢を持ち、熱が生まれる。その熱は確実に自らを動かし、人を動かし、そして人生を、世界を大きく動かします。誰にでもできるけど、誰もまだ、その魔力に気付いていない「本当のメモの世界」へ、ようこそ。



「変な絵」雨穴(双葉社)

あなたも、何かがおかしい9枚の絵の「謎」が解けますか？ とあるブログに投稿された『風に立つ女の絵』、消えた男児が描いた『灰色に塗りつぶされたマンションの絵』、山奥で見つかった遺体が残した『震えた線で描かれた山並みの絵』……。いったい、彼らは何を伝えたかったのか——。9枚の奇妙な絵に秘められた衝撃の真実とは!? その謎が解けたとき、すべての事件が一つに繋がる！ 今、最も注目を集めるホラー作家が描く、戦慄の国民的スケッチ・ミステリー！



「13歳のきみと、戦国時代の「戦」の話しよう。」房野 史典(幻冬舎)

こいつら《戦国武将》、当時、めっちゃバズってた！
 歴史の「超現代語訳」で人気の芸人が、史上最高に噛み砕いて“戦国の流れ”を解説した、面白さブッチギリの入門書。
 歴史が動くポイントがわかるから、大人にも刺さる！
 意味も解らず覚えた100個の歴史用語より、
 意味を深く理解した1個の歴史ストーリーのほうが、大切です。(「おわりに」より)



「死にたいけどトポッキは食べたい 2」ペク セヒ(光文社)

”他人の眼に映る私”の影に苦しみ、自分自身を傷つけて憐れみ、時にはその苦しみや痛み、安らぎすら覚える…。気分変調症(軽度のうつ症状がずっと続く状態)に悩む著者が、そこから抜け出そうともがき、精神科医との対話の末にたどり着いた、心のありかた。繊細な心を描き各国で話題のエッセイ、“その後”のお話です。

1月の多読賞！

順位	1年生	冊数	順位	2年生	冊数	順位	3年生	冊数
1		19	1		7	1		1
2		12	2		6			1
3		10			6			1
4		4	4		3			
5		2	5		2			
		2						
		2						
		2						
		2						

